

メール配信システム「Cuenote FC」において フリークエンシー機能を提供開始

～過度なコミュニケーションを自動回避、顧客との良好な関係を維持～

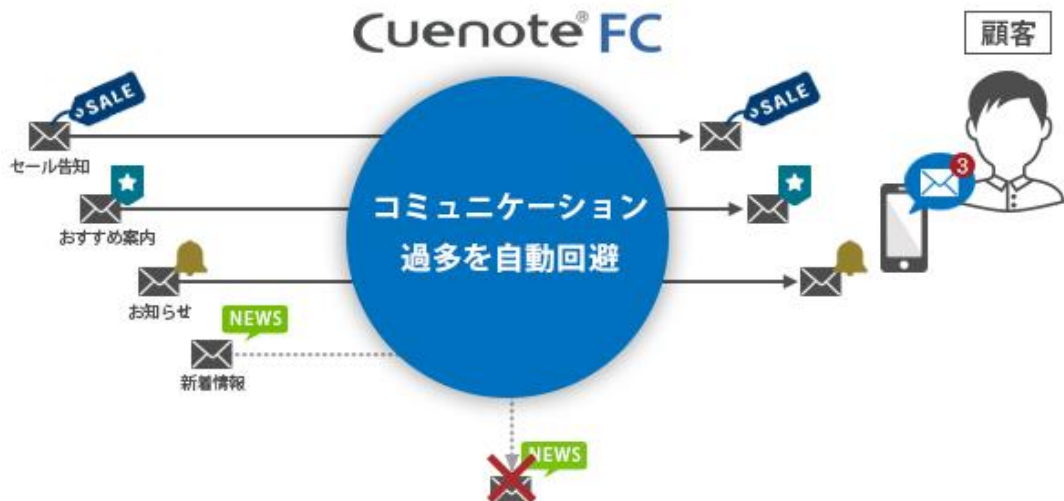
阪急阪神ホールディングスグループのユミルリンク株式会社（代表取締役社長：清水 亘、本社：東京都渋谷区）は、メール配信システム「Cuenote FC」にフリークエンシー機能を追加した最新版を本日（2021年2月3日）から提供開始いたします。

ユミルリンクが提供するメッセージングソリューション「Cuenote（キューノート）」シリーズは、独自に開発したメール配信エンジン（MTA）によりメール・SMS 配信が高速・確実に実行でき、月間のメール・SMS 配信数は国内最大規模となる44億通を誇ります。更にシンプルで簡単に操作できることから、各自治体や大手企業をはじめ多くの企業・団体にご利用いただいております。サービス契約数は1,800を超えます。

今回メール配信システム「Cuenote FC」に新たに追加するフリークエンシー機能は、画面上で「期間」「通数」を指定するだけで同一顧客（メールアドレス）へのメッセージ送信数を制御する機能で、メッセージ送信数の過多に伴うオプトアウト（購読解除）や退会を低減でき、顧客との良好な関係維持に役立ちます。

本機能は、Cuenote FC クラウドサービス（ASP・SaaS）の標準機能として提供いたします。

【フリークエンシー機能のイメージ】



【機能追加に至った背景】

メールマーケティングがオンラインによる顧客との関係維持やプロモーション、通知などの用途で積極的に活用される中、オプトアウトや退会者の低減は重要な課題です。その対策の一つとして、適切なコミュニケーション頻度を維持することが求められます。

一方で、顧客数増加やセグメンテーションの細分化、メッセージ送信タイミングの多様化などにより顧客毎のメッセージ送信数管理は難易度を増す傾向にあり、新たな設備投資や担当者の業務負荷増加を伴います。

【フリークエンシー機能の概要】

本機能では、担当者が配信毎に「期間」と「通数」を指定するだけで、顧客毎の送信を制御できます。顧客に対する過大なコミュニケーションを回避し、良好な関係維持に役立ちます。

ユミルリンクでは今後も、企業と消費者のコミュニケーションを実現するメール配信システムのプラットフォームとしてさまざまなデータを活用し、マーケティング効果を高める機能やサービスの拡充に努めてまいります。

【提供形態／販売価格】

<メール配信システム Cuenote FC>

- ・クラウドサービス（ASP・SaaS）

初期費用：33,000 円～（税込） 月額費用：5,500 円～（税込）

- ・オンプレミス型（ライセンス）

初期費用：2,475,000 円～（税込） 月額費用：50,600 円～（税込）

<会社概要>

社名：ユミルリンク株式会社

代表取締役社長：清水 亘

資本金：1 億 1,828 万円

本社：東京都渋谷区代々木 2-2-1 小田急サザンタワー12F

設立：1999 年 7 月

事業内容：クラウドサービス（ASP・SaaS）事業、ソフトウェアプロダクト事業

主要株主：アイテック阪急阪神株式会社

詳細については、<https://www.ymir.co.jp> をご覧ください。

*「Cuenote」は、ユミルリンクの商標又は登録商標です。